

## 第8次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	解放センター関係事業
-----	------------

会計区分	一般会計	実施主体	市
根拠法令	社会福祉法、第8次鳥取市総合計画、鳥取市における部落差別をはじめあらゆる差別をなくする条例		
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	実施(補助)期間
			自 継続 ~ 至

担当部	人権政策監	担当課	人権推進課
担当係	企画調整係	内線	2271 課 25010
関係課			

総合計画		基本計画の政策目標 (平成16年度 22年度)		
基本計画	章名	第1章 明日を担う人づくりとコミュニティを中心とした地域づくり	人権が尊重されている社会と思う市民の割合 18.7% 40%	
	節名	第1節 明日を担う人づくり		
	細節名	第9 すべての市民の人権が尊重される明るい社会づくり		
	施策名	同和対策の推進 該当ページ 71ページ		
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン		7 人権尊重都市の実現		
事業区分	新規	継続	施策	11-09-02

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	平成19年度 事業内容	平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	備考	注意事項	
解放センター等を拠点として、同和問題をはじめあらゆる人権問題に取り組み早期解決を図る。	・解放センター管理 ・中央隣保館管理 ・地域福祉事業 ・地域交流促進事業 ・広域隣保事業(用瀬) ・用瀬人権文化センター管理	・解放センター管理 ・中央隣保館管理 ・地域福祉事業 ・地域交流促進事業 ・広域隣保事業(用瀬) ・用瀬人権文化センター管理	・解放センター管理 ・中央隣保館管理 ・地域福祉事業 ・地域交流促進事業 ・広域隣保事業(用瀬) ・用瀬人権文化センター管理	・解放センター管理 ・中央隣保館管理 ・地域福祉事業 ・地域交流促進事業 ・広域隣保事業(用瀬) ・用瀬人権文化センター管理		<p>(注1) 事業内容は、緊急性、地域の実情、効果、熟度、有利財源の確保の観点により、毎年ローリング(見直し)する中で変更していくことがあります。</p> <p>(注2) 事業費(財源内訳)は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。</p>	
事業の概要	・解放センターの管理 ・中央隣保館における地域福祉事業、地域交流促進事業の実施 ・用瀬人権文化センターにおける広域隣保事業の実施						
事業の対象者(交付先)	すべての市民						
事業費(百万円)	H19決算額	H20予算額	H21予算要求 予定額	H22予算要求 予定額	H20~H22合計		
百万円未満の事業費は、百万円に切り上げています。	14	13	13	13	39		
財源内訳(イット)	一般財源	8	8	8	8		24
	国庫支出金						
	県支出金	3	2	2	2		6
	起債( ) その他(使用料)	3	3	3	3		9
目標値	活動の指標(アウト) 人権啓発の住民交流の拠点施設としての活用 ・解放センター・中央隣保館(湖南分館) ・用瀬人権文化センター	3施設	3施設	3施設	3施設		
	効果(アウト) 解放センター利用者数	15,000人	15,000人	15,000人	15,000人		
特記事項							